

2024年10月8日

各位

会社名 株式会社ケイ・ウノ
代表者名 代表取締役社長 伊藤 崇史
(コード番号: 259A 名証 ネクスト)
問合せ先 取締役管理本部長 渡沼 和則
(TEL 080-7638-1240)

名古屋証券取引所ネクスト市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2024年10月8日に名古屋証券取引所ネクスト市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

なお、2024年9月期（2023年10月1日から2024年9月30日）における当社の連結業績予想は、次のとおりであります。また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【連結】 (単位: 百万円、%)

項目	2024年9月期 (予想)			2024年9月期 第3四半期累計期間 (実績)		2023年9月期 (実績)	
	対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率	
売上高	6,508	100.0	5.5	4,956	100.0	6,170	100.0
営業利益	259	4.0	46.3	249	5.0	177	2.9
経常利益	232	3.6	39.1	243	4.9	167	2.7
親会社株主に帰属 する当期(四半期) 純利益	173	2.7	115.6	159	3.2	80	1.3
1株当たり当期 (四半期)純利益	183円46銭			169円43銭		85円09銭	
1株当たり配当金	0円00銭			—		0円00銭	

- 注 1. 2023年9月期(実績)、2024年9月期第3四半期累計期間(実績)及び2024年9月期(予想)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。なお、当社は、基準日(2024年9月30日)を超えての新株式発行となることから、2024年9月期(予想)において、発行済株式総数の増加は見込んでおりません。
2. 2024年6月14日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。上記では、2023年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。

ご注意	この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)」をご覧くださいの上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。
-----	--

【2024年9月期業績予想の前提条件】

(1) 全体の見通し

当社グループは「オーダーメイドでお客様に特別な感動と喜びを贈り続ける」というパーパスのもと、オーダーメイドでジュエリー及び時計をデザインから製造・販売まで自社で一貫して行うビジネスモデルを構築しております。自社で製造から販売を一貫することにより、高コストかつ大量生産が難しいオーダーメイドビジネスを低コストで実現し、付加価値の高いサービスを全国で展開しております。

消費者の嗜好の多様化や、個性重視の価値観の広まりが進みつつある中において、アイテムに求める機能や利便性、デザインの要望は十人十色です。その一方で、世の中には多くの方に受け入れられるように制作された既製品が多数を占め、「あとちょっとこうだったらいいのにな…」という気持ちを叶えられるサービスは、まだまだ希少となっております。お客様に特別な感動と喜びを贈るため、「80%、90%の満足を狙うよりも、お客様一人ひとりのニーズに合わせて100%の満足を提供できる企業でありたい」。その思いから、当社グループはオーダーメイドを行っております。

当社グループが事業展開を行うジュエリー市場は、1980年代後半のバブル景気時をピークとして、景気後退とともに市場を縮小し続けてきましたが、2008年頃からは一定の規模で推移しております。また2020年からの新型コロナウイルスの感染拡大で一時的に縮小したものの、感染が収束する中で国内の消費行動が活発化し、リベンジ消費としてインポートジュエリーをはじめとした高額なジュエリーの需要が増加したことや、ロシアのウクライナ侵攻によってインフレが続いている影響を受け、商品価格の値上げを行う宝飾品ブランドが増加傾向であること等により、回復傾向にあります。

また、ブライダルジュエリーの市場規模は微増に留まっておりますが、これはコロナ禍に結婚式や新婚旅行の予算が大幅に削られた中で、これら予算の一部が婚約指輪や結婚指輪に振り分けられたことでコロナ禍でも大きな落ち込みとならなかったことが理由の一つとして考えられます。新型コロナウイルスの影響が収束し、通常通りの婚姻組数に戻っていること、及びブライダルリングは必需品に近い物であるといえることから、増加トレンドに転じることが予想されています。

このような状況のもと、当社グループの2024年9月期の業績は、売上高6,508百万円（前期比5.5%増）、営業利益259百万円（前期比46.3%増）、経常利益232百万円（前期比39.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益173百万円（前期比115.6%増）となる見込みです。

(2) 売上高

当社グループの売上高で大きな割合を占める、国内店舗・ECにおける売上高は、主に「K-uno」「DisneyTreasure」ブランドでのブライダルジュエリー・ファッションジュエリー・時計の売上高となっております。ブライダルジュエリーについては、厚生労働省発表の人口動態調査を元に調査会社や結婚情報会社の予測等を鑑みながら、当社が算出した婚姻組数予測を元に、予想来店組数を算出しております。その予想来店組数に対して、前年度の成約率にサービスや店舗スタッフ教育の拡充等による変動を考慮した予想成約率を乗じることで、予想成約組数を算出しております。その予想成約組数に対して、前年度の組単価に予測婚約指輪取得率や新作開発等による変動を考慮した予想組単価を乗じることで売上高を算出しております。ファッションジュエリー・時計については、ブライダルジュエリーの予想売上高作成時に使用した予想来店組数を元に算出した、新規ファッションジュエリー来店組数にフェア・SNS・DM等の各リピート施策でのリピート率向上の見積りを加算し、前年度の商品カテゴリー別構成にジュエリートrendや新作開発による変動を考慮した予想商品カテゴリー別構成比率と予想商品単価を乗じて算出しております。

各種キャラクタージュエリー・時計を取り扱っている「U-TREASURE」の売上高は、ブライダルジュエリーについては、前年度の各キャラクターライセンス別の成約組数に直近でのキャラクターの人気動向を考慮した予想成約組数に、予想組単価を乗じて算出しております。ファッションジュエリー・時計については、新作ライセンス案件ごとに過去の売上等に、在庫販売トレンドを加えて、直近でのキャラクターの人気動向を勘案したものを積み上げて算出しております。

以上の結果、売上高は6,508百万円（前期比5.5%増）を見込んでおります。

ご注意	この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧くださいの上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。
-----	--

(3) 売上原価、売上総利益

当社グループの主な売上原価は、材料費、労務費、外注加工費であります。

材料費については、売上計画に基づき、前年度の製品カテゴリー別の材料使用額をベースに算出しております。材料には金・プラチナなどの貴金属やダイヤモンドなどの輸入材料があるため、現在の円安基調・貴金属の高騰が継続することを前提に単価を織り込んでおります。また、一部商品の価格改正や一括購買等による材料費の低減も織り込んで算出しております。

労務費は、製造に関わる従業員の賃金、雑給、賞与、法定福利費、福利厚生費等で構成されており、賃金及び雑給は前年実績に基づき昇給を加味した単価に、新入社員等の入退社予測数を勘案した部門別人員計画の人員数を乗じて算出しております。

外注加工費は、売上計画に加え、加工賃・材料の単価上昇、タイ自社工場への製造移管等を加味して算出しております。

その他の経費につきましては、前年実績に基づき、具体的な増減が見込まれる項目について勘定科目別に積み上げて算出しております。

以上の結果、売上原価は 2,616 百万円(前期比 0.4%減)、売上総利益は 3,892 百万円(前期比 9.8%増)を見込んでおります。

(4) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、販売・営業及び管理に係る人件費、新規顧客獲得のための広告宣伝費、ライセンス使用のロイヤリティ支払のための販売手数料、店舗の地代家賃等であり、その他経費も含めた積み上げにより算出しております。

人件費は、前年実績に基づき、新卒採用による店舗でのアドバイザー・デザイナーの人員拡充及び退職を見込んで作成しております。また賃金及び賞与は、年度段階的な増加を見込んでおります。

広告宣伝費は用途として、雑誌広告、インターネット広告、ブライダルポータルサイトへの掲載費等に使用しており、主に新規顧客獲得のための費用となっております。販売手数料はキャラクター使用に伴うロイヤリティの支払いと提携結婚式場等への新規ブライダル客の紹介手数料を見込んでおり、売上計画の変動費率で積み上げております。

地代家賃は賃貸借契約に基づき算出しております。

以上の結果、販売費及び一般管理費は 3,633 百万円（前期比 7.9%増）、営業利益は 259 百万円（前期比 46.3%増）を見込んでおります。

(5) 営業外損益、経常利益

営業外収益は、受取利息・為替差益等を計上しており、6 百万円（前期比 38.1%減）を見込んでおります。営業外費用は、上場関連費用、支払利息・持分法による投資損失等を計上しており 32 百万円（前期比 64.5%増）を見込んでおります。

以上の結果、2024 年 9 月期における当社の経常利益は 232 百万円（前期比 39.1%増）を見込んでおります。

(6) 特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

特別利益及び特別損失は見込んでおりません。法人税等を差し引いた結果、2024 年 9 月期における当社の当期純利益は 173 百万円（前期比 115.6%増）を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提としており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上

ご注意	この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧くださいの上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。
-----	--

2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月8日

上場会社名 株式会社ケイ・ウノ 上場取引所 名
コード番号 259A URL https://www.k-uno.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 崇史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 渡沼 和則 TEL 080 (7638) 1240
四半期報告書提出予定日 ー 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年9月期第3四半期	4,956	—	249	—	243	—	159	—
2023年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 162百万円(－％) 2023年9月期第3四半期 ー百万円(－％)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	169.43	—
2023年9月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2023年9月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年9月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2024年6月14日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。期首に当該分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2024年9月期第3四半期	4,410	1,027	23.3
2023年9月期	4,332	865	19.98

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 1,027百万円 2023年9月期 865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	6,508	5.5	259	46.3	232	39.1	173	115.6	183.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2024年6月14日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、一株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	943,200株	2023年9月期	943,200株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	一株	2023年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	943,200株	2023年9月期3Q	943,200株

(注) 当社は、2024年6月14日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第3四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、大手企業を中心とした堅調な業績を背景に、生産体制強化のための設備投資や高い水準での賃上げが進んだことから、全体としては緩やかな景気回復が持続しているものの、一方では原材料価格の高騰や人手不足に伴う労働供給制約による中小企業を中心とした景況感の悪化や、円安の進行に伴う物価上昇や消費者の購買意欲の減退など、景気の下振れリスクも数多く顕在しており、依然として不安定な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループは、中期経営計画に「オーダーメイドでお客様に特別な感動と喜びを贈り続ける」というパーパスを掲げ、更なる顧客満足度の向上を図るための、質の高いサービスやものづくりの強化に取り組んでまいりました。

株式会社ケイ・ウノにおいては、主にジュエリーの販売強化として、より顧客の裾野を広げるマーケティング施策を打ち出し、新たな層の顧客の獲得に取り組むとともに、店舗へのご来店状況に合わせた柔軟な人員配置や予約枠の増大を行ったことで、来店組数の向上へと結びつき売上高は好調に推移しました。また、中国本土へのディズニー商品の卸販売を開始し、新たなグローバル展開への販路拡大をいたしました。売上原価、販管費においては、金やプラチナの仕入価格高騰に伴う売上原価の増加や、人材の定着が進んだことによる人件費の増加が見られました。

子会社である株式会社ユートレジャーは、国内においては期初より実施していたマーケティング強化施策が奏功しブライダルジュエリーが伸長しました。ファッションカテゴリーでは、積極的に新作を展開した時計や、貴金属製フィギュアなどの高価格帯のコレクターアイテムが伸長し顧客層を広げられたものの、新規ジュエリーのヒット商品数は減少し、前期並みとなりました。海外においてはイベントへの積極的な参加により認知拡大に努めました。その結果、全体で売上高は増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,956,688千円、営業利益249,530千円、経常利益243,089千円となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は159,804千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は4,410,717千円となり、前連結会計年度末に比べ78,289千円の増加となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は3,383,089千円となり、前連結会計年度末に比べ83,834千円の減少となりました。これは主に、短期借入金及び賞与引当金が減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,027,627千円となり、前連結会計年度末に比べ162,123千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に関しましては、本日公表いたしました「名古屋証券取引所ネクスト市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	978,538	979,395
売掛金	384,467	400,835
商品及び製品	826,661	813,128
仕掛品	222,120	220,604
原材料及び貯蔵品	652,718	730,168
その他	120,512	142,496
流動資産合計	3,185,019	3,286,627
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	411,187	405,931
土地	43,000	43,000
その他	67,406	77,122
有形固定資産合計	521,594	526,053
無形固定資産	78,262	72,386
投資その他の資産	547,552	525,649
固定資産合計	1,147,409	1,124,089
資産合計	4,332,428	4,410,717
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,087	105,872
短期借入金	800,000	750,000
一年内返済予定の長期借入金	332,192	295,367
未払金	165,074	133,853
未払費用	216,935	244,715
未払法人税等	52,949	42,392
契約負債	751,353	746,458
賞与引当金	112,607	66,948
その他	93,163	97,602
流動負債合計	2,595,363	2,483,209
固定負債		
長期借入金	576,313	613,858
退職給付に係る負債	2,294	3,248
資産除去債務	271,193	275,355
その他	21,758	7,418
固定負債合計	871,560	899,879
負債合計	3,466,923	3,383,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	152,300	152,300
利益剰余金	658,080	817,884
株主資本合計	840,380	1,000,184
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	25,124	27,442
その他の包括利益累計額合計	25,124	27,442
純資産合計	865,504	1,027,627
負債純資産合計	4,332,428	4,410,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,956,688
売上原価	2,023,024
売上総利益	2,933,663
販売費及び一般管理費	2,684,133
営業利益	249,530
営業外収益	
受取利息及び配当金	128
為替差益	10,528
その他	1,238
営業外収益合計	11,894
営業外費用	
支払利息	5,173
持分法による投資損失	12,817
その他	345
営業外費用合計	18,335
経常利益	243,089
特別利益	
固定資産売却益	39
特別利益合計	39
特別損失	
固定資産除却損	189
特別損失合計	189
税金等調整前四半期純利益	242,940
法人税、住民税及び事業税	71,811
法人税等調整額	11,324
法人税等合計	83,135
四半期純利益	159,804
親会社株主に帰属する四半期純利益	159,804

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	159,804
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	2,318
その他の包括利益合計	2,318
四半期包括利益	162,123
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	162,123

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは製造小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間

(自 2023年10月1日

至 2024年6月30日)

減価償却費

60,845千円